



上野ロータリークラブ60周年記念事業として寄贈された芭蕉翁顕彰碑

ぶんと通信

第90号

2013年10月15日発行
(公財)伊賀市文化都市協会

旅人と我が名呼ばれん初しぐれ

「月日は百代の過客にして行きかふ年もまた旅人なり」と芭蕉翁は、永遠に続く時の流れを自身の生き様と現世の営みを重ね合わせ「旅人」と表現した。

個々人の人生も、取り巻く社会も、もちろん「伊賀市」もそして伊賀市が誇れる「文化」もいまだ旅の途中であろう。

来年(2014)は私たちが「芭蕉さん」と親しみを込めて讃え敬愛する松尾芭蕉翁生誕370年の節目にあたる。この機を捉え、日本の文化の象徴ともいえる翁の顕彰をいま一度見直すと同時に、「文化薫る歴史のまち」を自負する伊賀市の「文化」への取り組みや、その心意気をしっかりと確認できれば嬉しい。

西行法師の背中越しに中国の思想家莊子に憧れていた翁は、「無用の用」を強く意識し、「我が俳諧は夏爐冬扇の如し」と自分の生業の俳諧を一眼卑下したような言葉を残している。が、これは夏の爐、冬の扇のように人間の生活にならば必要のない事ではあるが、逆に情緒、風雅を楽しむところこそが人間社会にとって一番大切なものなのだよという力強い想いを説いたものと理解する。

東北大震災のあと、世界中から称讃された日本人のこのころの原点がここにある。四季折々の美しさに触れ、感じ、そしてそれを「生きる」楽しさ、喜びにおきかえて、皆でそのことを分かち合うところの有りようを忘れてはならない。

執拗だが、くり返して言う。お金がなくとも秋の風情を楽しむことはどんな形でもできる。一輪のコスモスを牛乳ビンに挿し、捨ててきたイガ栗を玄関先にころがして置く。このころこそが、伊賀の品格ある文化を守り育てることに通じる筈である。「文化」って一体何だろう、という問いに明確な解答は見つからない。永遠と続く「旅」の未だ途中である「文化」と共に、芭蕉さんを道づれにお願いして、私たちが一緒により高み、より深みへと旅していこう。

(広報事業委員 池澤基善)

BUNTO チケット情報

ワンコインコンサート
東西二胡外伝
～伊賀の陣～



10/19日 好評発売中

開場17:30 開演18:00
一般500円(全席自由)

あやま文化センター

親子で楽しむ
オーケストラ!
～愛知室内オーケストラと遊ぼう～



11/16日 好評発売中

開場14:30 開演15:00

一般(中学生以上)1,000円
小学生以下500円
3歳未満無料(要整理券)
(全席自由)(当日各300円増)

伊賀市文化会館

WAHAHA本舗 presents
マチヤミ&ポカスカジャンの
音楽遊び
結婚線が消えてきた



12/1日 好評発売中

開場15:30 開演16:00

一般 4,500円
(全席指定)

ふるさと会館いが

華麗なる響演
奥村愛
&
上松美香
&
サキタハデメ



12/8日 好評発売中

開場14:00 開演14:30

一般 3,000円
(全席指定)

青山ホール

服部博之
Special Live
「一會一いちえ-2013」
in 伊賀



12/14日 好評発売中

開場18:00 開演18:30

一般 1,000円
(全席自由)

青山ホール

第24回
青山推薦コンサート

2/9日 12/1日発売

時間未定
一般 1,000円
(全席自由)
青山ホール

和太鼓フェスティバル
打伊響宴 2014 YAYOI

3/16日 12/14日発売

開場13:30 開演14:00
一般 3,000円
(全席指定)(当日500円増)

伊賀市文化会館

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館
青山ホール

TEL.0595(24)7015
TEL.0595(52)1109

ふるさと会館いが
あやま文化センター

TEL.0595(45)9125
TEL.0595(43)1125

ぶんと通信

先取りインタビュー

ひさもとまさみ

久本雅美さん

12月1日(日)ふるさと会館いがに、マチャミ&ポカスカジャンがやって来ます。WAHAHA本舗PRESENTS「結婚線が消えてきた」の公演を前に、久本雅美さんにお話を伺いました。

Q. このユニット、マチャミ&ポカスカジャンの企画が生まれたきっかけはあるのですか？

A. 以前よりワハハ本舗の全体公演の中で、私が独身女の悲哀の歌詞を盛り込んだ歌をうたったり、アニメソングや童謡などのジャンルに恋愛妄想しながらの歌を自分のシーンとしてやっていたり、その際にはポカスカジャンとアイデアを出し合ったりコーラスで参加してもらったりしていて、一緒に音楽ライブを創り上げてみよう！というのが、このライブの企画につながりました。

Q. 今回のステージの見どころや抱負などお聞かせください。

A. 正直、歌はずっと苦手意識が強かったのですが、わたしなりの音楽や歌に笑いをおりませることによって“音楽遊び”



”に変わって行くことができると思っています。テレビなどでは伝えきれないことを、舞台やライブで感じて頂ければ嬉しいです。

Q. ポカスカジャンさんについて、久本さんはどんな

な風に見られていますか？

A. ポカスカジャンのメンバーは、音楽はもちろんのこと笑いもできる本当に今なかなかいない才能を持った人達です。ワハハ本舗もポカスカジャンが入るまでも音楽ネタはありましたが、彼らは音楽的ベースがしっかりしているの、かなり広がりを持ってワハハの音楽ネタが完成されることもありますね。

Q. 伊賀に来られたことがありますか？また、伊賀にどんなイメージをお持ちですか？

A. 8年程前にテレビのロケで“忍者屋敷”等に行かせて頂きました。街並みも美しいし、自然に囲まれたステキな所という印象です。

Q. タイトルの「結婚線が消えてきた」実際にはいかがですか？

A. 全然消えていません!! 断じて消えておりません……!!

Q. 伊賀のみなさんにメッセージをお願いします。

A. はじめて伊賀でライブをやらせて頂きます!! ワハハ本舗での公演等でも訪れることができなかったのも、まさに“わたしとポカスカジャン”にとっても初めての地です。“はじめまして”という気持ちでお伺いします。みなさんとステキな出会いができるよう頑張りますので、待っていてくださいね~!

お忙しい中、ていねいに回答頂きありがとうございます。テレビや舞台で大活躍のマチャミ&ポカスカジャンのコラボレーションによる新たな取り組み。歌あり、笑いあり、涙ありの熱いステージになること間違いなし。こんな機会、そうは無いですよ。これは見ないとね。みんなでふるさと会館へ集合!
(広報事業委員 奥 真也)

先取りインタビュー

おくむら あい

奥村 愛さん

来る、12月8日(日)青山ホールで「華麗なる響演 奥村愛&上松美香&サキタハチメ」が開催されます。公演に先立ち、奥村愛さんにお話を伺いました。奥村さんは、ヴァイオリニストとして国内外のオーケストラと共演。トークリサイタルやテレビ、ラジオでも大活躍で、最近ではNHKドラマ10「第二楽章」での素敵な音色に魅せられた方も多いのではと思います。

Q. 音楽家ご一家で育たれたとお聞きしていますが、ヴァイオリンを目指されたのはどうしてでしょうか？

A. 特に『ヴァイオリニストになりたい!!』と思った事はないです。

小さい頃からヴァイオリンはずっと続けたいなと言う漠然とした思いはありました。

Q. どのような演奏家でありたいとお考えですか？

A. 楽しく笑顔で!

小学生のような答えで恐縮ですが、共演者、スタッフ、そして何より聴きに来てくださるお客様がハッピーになれるようなお仕事がしたいと思っています。

自分自身も、せっかく好きなことをお仕事に出来ているのだから、いつでも思いっきり楽しんで演奏したいですね。

Q. この度は、のこぎり奏者のサキタハチメさん、アルパ奏者の上松美香さんとの共演ですが、ユニットを組まれたきっかけは？

A. ヴァイオリンは比較的メジャーな楽器となりつつありますが、なかなかお目にかかる機会の少ない、アルパやのこぎり(のこぎりは見るだけならいつでも簡単に見れますが……)と何か楽しい事が出来ればと思っています。お二方とも周りの人を幸せな気持ちにしてくれる素晴らしい演奏家です!



Q. 伊賀公演での見どころや、伊賀のファンへのメッセージなどお聞かせください。

A. 個性豊かな演奏家たちによる愉快的コンサートになると思います。音楽の可能性を存分に楽しんでいただけたらと思います。

ありがとうございました。お話を伺っただけでも、楽しい雰囲気伝わってきますね。どんな音楽に出会えるか、わくわくしながらお待ちしております。みなさんも、お楽しみに!!

(広報事業委員会 廣澤良美)



一筆啓上 ふるさとへ

「地元学ぶ」

地元学ネットワーク近畿代表
水と文化研究会事務局長
子ども流域文化研究所代表

小坂 育子
(大津市在住)



「一番大切なものは何ですか」という問いかけに、迷わず「友だちとここの暮らしさぁ」と返してくれたおばあちゃんは87歳、その日も深い山家から仕事を終えて自らが運転する車でゲートボール場に急ぐ現役の主婦でした。60歳はまだまだ子ども、70歳になってやっと一人前、80歳は働きざかりと軽く言っているその当たり前さには驚かされました。また、ダム建設で集落移転を余儀なくされ、これまでの自治組織は分断されたなかで僅かに残った数軒の村に暮らす人たちは「私たちは人やモノと結び合って暮らしてますわ。庭先の草木に声をかけてやるとええ花咲いてくれますにゃ」と、その顔は実に誇らしげでした。一枚の田、一枚の畑から小さな路地に至るまで自分たちの手で拓き、生活の糧を生み出してきた歴史と生活文化の厚味を感じさせるのは、先祖から受

け継いできた田んぼや畑、家や川を守ってきた人たちのここに生き、これからもここに生きていく知恵と工夫から生まれた「暮らしの風景」にありました。

地元学ぶ、それは「ないものねだり」ではなく、「あるもの探し」から始まります。地元の声に耳を傾けると、そこに暮らす人たちは本当によく働き、その生き様は誠実に満ちています。それは経済的な豊かさではないかも知れませんが、「始末のよい暮らし」が当たり前を受け継がれています。この当たり前の凄さに驚きを発し、そこから地域の元気と底力を掘り起こして行く、それが私の地域歩き、「地元学」です。地域のもっている「人の力」、「地の力」、「自然の力」には、進歩のかけで忘れられ、見捨てられてしまった大切なモノの価値や意味を問うヒントが隠されているように思います。

現在から未来を見るのは単なる虚構にすぎないのかも知れませんが、歴史を見つめ直し、そこから得るものこそが未来への展望になるはずで、未来への希望を拓く可能性をたくさん秘めている故郷伊賀上野こそ、私を育ててくれた聖地であり、わが師なのです。

夢ing

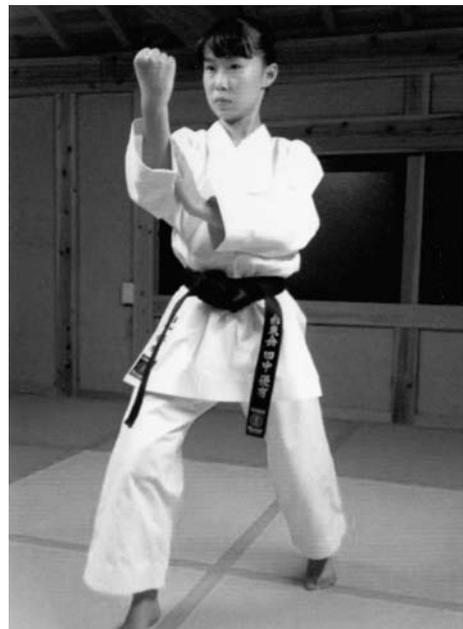
「夢」

伊賀市立青山中学校3年 田中 優有^{ゆう}

私は小学三年生の冬、お母さんに自分の護身のためと言われ、無理矢理空手教室に入れられました。初めは空手が嫌いでした。練習の度泣いていました。でも小学四年生の五月、県大会で奇跡的に準優勝することができた私は、その年の八月、初めて全国大会に出場することができました。結果は二回戦敗退だったけど、その後いきなり空手が好きになり、今に至ります。

昨年の秋、岐阜国体の空手道競技を見にいきました。世界大会などで活躍していて雑誌やテレビでしか見たことがなかった選手の形を初めて肉眼で見た時、その迫力や技のキレ、スピードにすごく驚き、感動しました。いつか自分もあの場に立ちたい、そう思いました。

夢は国体で活躍。私は自分の生まれ育った三重県で八年後に行われる国体に出場し、活躍したいです。そのために、今の自分の欠点である下半身の強化に力を入れていきたいです。これからも頑張ります。



ふるさと通信

伊賀のええもん見つけた



地震守護の神様で知られる大村神社。その社殿は伊賀市阿保の東、宮山と呼ばれる丘の上にあります。社殿を取り巻くように大木が生い茂り、

麓からは緑深くこんもりとした「大村の森」が、浮かび上がった雲のようにはっきりと確認することが出来ます。かつてはその姿から「大森の社」とも呼ばれていました。

この「大村の森」は、ヒノキやスギの大木のほかに、シイやカシなども自生する昔ながらの植生が残っていて、キツネやムササビ、そして、フクロウやキツツキなどの姿も見ることが出来ます。街からほど近い森としてはとても珍しい、様々な動植物が共生する自然豊かな場所となっています。

平成10年9月22日、「大村の森」を猛烈な台風が襲いました。国宝の室生寺の五重塔を倒壊させたことで全国的にもニュースになったあの台風7号で、伊賀地方では最大風速56.4m/sを記録。樹齢何百年もするご神木が根こそぎ倒れたり、大量の枝木が吹き飛ばされたり。社殿や参道も破壊され、境内は目を覆うばかりに豹変しました。

「大村の森」

嵐がおさまると、その惨状を聞いて心配になったまちの人々が駆け付け、直ちに倒木の処理が始まりました。多くの人々の手により着々と復旧作業が進み、翌年の春にはスギやヒノキの苗木約1300本が植樹され、みどりの日には子どもたちによる榊や枅などの植樹も行われました。

それから15年、「大村の森」に足を踏み入れると、大きく傾いたまま成長を続けるご神木、足元にはいくつもの巨大な切り株、見上げれば上部を引きちぎられた木々。今でもあちらこちらに台風の爪痕を確認することができますが、直後の生々しさはなく、傷跡は癒え再びたくましく生きています。一方、その合間では、植樹された苗木が立派に成長し、もう既にしっかりと森に馴染んできています。その様はまるで老いと若さが助け合い競い合っただけで森をつくっているかのように見えます。

これからもこの「大村の森」は、まちの人々の力で、しっかりと守り育てられ、自然豊かなまちの憩いの場として、いつまでも受け継がれていくことでしょう。



(広報事業委員 重藤憲史)

こだわり人生乾杯

「まゆはきを佛にして紅粉の花」

おもかげ べに はな
紅ばなネット代表 峠 美晴

『生誕360年 芭蕉さんがゆく 秘蔵の国 伊賀の蔵びらき』事業の運営に関わった際、この句に惹かれ、事業終了と同時に仲間と『紅ばなネット』を立ち上げ、以来活動を続けています。

伊賀の地にもその昔、芭蕉さんがいた頃には紅花が咲き誇っていたのだということや紅花が重要な上納品であったことなど、地域で紅花の取り組みを始めていた方から教わると、紅花が伊賀や芭蕉さんにとっても深い関係があるのだと感じ、生誕360年事業に一人でも多くの方に関わっていただきたい一心で『紅花の種』の普及に取り組んでいました。

ところで、「紅花ってご存じですか？」

アザミに似た菊科の花です。とげとげだし育てにくい。と、育ててみた方は必ずと言ってよいほどそう言います。

紅花に出会って10年。この間、とても大切な仲間と出会い、素晴らしい方々との出会いがありました。それらは全

て私の心の中の"引き出し"に宝物となって詰まっています。

時折、その引き出しの中から"宝物"をそっと出してきて一緒に紅花摘みをしたり、協力をお願いして『紅花のお饅頭』になったり『紅花tea』になったり、『紅花豆腐』になったりしたのです。

この10年の間、取り組みは少しずつ形を変えながら、伊賀の発信ツールの一つとして仲間と一緒に私たちに出来る地域づくりを続けてきました。紅花を育ててくださる古川さんや活動に協力してくれる仲間へ感謝し、これからも紅花で人を繋げて行けるよう、ゆっくり歩み続けたいと思います。



芭蕉さん歳時記

季語は「此秋」で秋の作品。

このあきなんとしくもとり 此秋は何で年よる雲に鳥

芭蕉翁は、江戸深川を拠点にして旅を重ね、文学的価値の高い紀行文を残しました。元禄2年春には、「おくのほそ道」の旅に出発しました。全行程は6百里、日数約150日をかけて、最終地の大垣に到着。翁は、まさに人生を旅として、旅と人生を俳句で表現した漂泊の詩人です。



元禄7年、翁の肉体は不調をきたしていました。「おくのほそ道」の疲れが原因なのか。翁と関わりが深かった女性寿貞が病死したからか。それでも9月には、付き人と共に衰えた体に

鞭打ちながら、門人たちのもめごとを仲裁するために大坂へと旅したのです。この旅が、最期になりました。

掲出句は、最晩年の作品で、「今年の秋は、どうしてこのように年老い、衰えが深く身に沁みるのか。眺めやると雲の彼方に、鳥影が消えようとしている」と解釈されます。鳥には雲がありますが、漂泊流浪の果てに衰弱した翁には、自らの心を語るべき者がいない孤独感が痛切に表れています。「此秋は何で年よる」は、一般の者も使う言葉であるだけに、思いは身近に実感できます。それに対応して「雲に鳥」の5文字は遠くに浮かぶ雲の中に鳥が姿を消してゆく情景は印象深く、寂寥感を覚えます。



翁は、数多くの俳人の心を掴み、育てましたが、偉大な先人らと同様、旅の途中で鬼籍に入りました。

来年は、芭蕉翁生誕370年です。

【資料提供】公益財団法人 芭蕉翁顕彰会

(広報事業委員 西岡時彦)



多情 多感

No.51

「一千万円行方不明事件」

北泉優子

我が拙宅、旧上野警察署庁舎で国の有形登録文化財を、伊賀市に寄贈したので、わたしと愛猫の住む小さな家を、裏の所有地に建てることにした。そのためには、廃業した印刷工場を解体しなければならぬ。東京での半世紀近いマンション暮らしで、解体だの、新築だのと、家にまつわる事柄とは無縁の人生だったから、当然ながら、戸惑い、困惑し、途中で投げ出したくなることもしばしばであった。が、幸にも、わたしには、助言だけでもなく、実際に行動して解決してくれた友人が数名居た。そのおかげで、解体時のゲリラ豪雨による一悶着も無事通過して、一応更地と相成った。そして、ささやかな夢を実現した新居の設計図も出来てきた。(北泉優子に、余計なお金は一銭も使わず、その金を、今の生活水準を保つに留めて、あと何年か分からないが、老後の生活水準を確保させる分に廻す)これが友人グループのコンセプト。いったい誰の家の？と考えるくらい真剣に議論検討してくれて、やっとまとまった新居の設計図と小さな模型は、「わあ素敵！こんな家に住みたかったのよ」と叫びたくなる素晴らしいものだった。ああ早く住みたい。心からそう思った。

「新しい家に移ったら、爪を立てたらだめよ。ガラス窓越しに外を眺めたり、日向ぼっこしたり、たっぷり楽しめるからね」と、唯一の家族、猫のクリに語りかけながら、わたしも伊賀の友人知人、東京の親友、むろん健在の三兄達を招いて、ホームパーティをやって、賑やかな老後、否、今でも充分老後だから余生と言うべきか、つまり死ぬまで楽しみたいと、あれこれ夢想していた。

数日後、設計事務所との契約日も決まり、解体会社にも支払わなければならない日が迫った。そこで、定期預金を普通預金に移行させておこうと、郵便局へ行った。定期は一千万円とちょっとある。この金は、東京で売れっ子だった四十代の約十年。お金って、こんなに入ってくるものなのと、不遜にも思った時代に、老後暇になったら、気の合うボーイフレンドをつくって、彼と二人、豪華船で世界一周の旅に行こうと、貯めたものだ。これを軸に、各銀行に分散してある預金の一部を使えば、生活水準を落とさずに、新築の家が建つ。そう計算したから、歴史

「これ、全部解約して、普通預金に移してくれませんか」「はあ？全部ですか。昭和×年。随分古いですねえ」流り顔の若い窓口嬢は、事情を話すと納得して、二通の通帳と身分証明の健康保険証を受け取り、パソコンの前のベテラン女性に手渡した。彼女は、幾度もパソコンを操作し直し、「これ、ほとんど払い戻されてるわ」と、わたしに聴こえる声で呟いた。今度は、こちらが、「はあ？」となる番で、座っていたのだが、思わず立ち上がり、カウンターに向かった。

「払い戻されてるって、どういうこと？」

気色ばみかける当方に、気の毒に、この人、ボケが始まっているんだわ、みたいな顔を一瞬浮かべた女性は、それでも通帳を指で示し、これとこれ、と払い戻し扱いになっているものを、丁寧に説明してくれた。それは合計約一千万円であった。もちろん額面と、思いつつ、頭の中は真っ白になった。一千万円が消えた。消えて無くなった!!

払い戻した記憶も事実もないのに、どこへ行ってしまったの？わたしは、新居の夢が露となるのを、瞬間実感していた。が、このまま引き下がるわけにはゆかない。一千万円は大金だ。

「払い戻しは、一円もしていません。若い頃に貯めたもので、老後に取っておこうと、別の場所に保管していたんです。うちは一人ですので、別の人間が勝手に出すこともありません。もう一度、しっかりと調べてください。解約の印もないでしょ？」

度胸をきめ、感情的にならず、冷静に告げた。

それから一時間半。事の経緯を知った局長まで参戦して、一千万円余の行方捜しが始まった。名古屋、東京と、三人がかりで連絡を取ってくれ、その返事待ちで、次の電話をかけ、頭が下がるほど親切に対応してくれた。やがて、ようやく行方が判明し、払い戻されていなかったことも証明された。おおもとの原因は、わたしのうかつさにあった。伊賀へ郵便物の転送届を出したのだが、こぼれ忘れたのだ。郵便物の転送届は出したのだが、これは一年で消滅するらしかった。だから、満期の度に、転居先不明で戻っていたのだ。

改めて住所変更届にサインし、利息はどうなるのか分からないが、ともかく一千万余は、無事、当方の手元に返ってくるようになった。少し先になるけれど。

よかったです。ほんとうに……

みなさんも、昔の通帳が引出しの奥に眠っていたら、一度銀行で調べてもらったほうがいいかもよ。頭の線が一本切れている粗忽者のわたしみたいな経験をしないうちに!

(作家・市内在住)

ナイト ライブラリー
Night Library

— 灯りでつなぐ本との出会い2013 —

上野図書館の本棚や中庭をライトアップして夜間イベントを実施します。やさしい灯りに照らされた幻想的な空間で、すてきな時間をお楽しみください。

【とき】 10月26日(土) 17:00開場 20:45閉場
 【ところ】 上野図書館

- ◆館内への入館は自由です。当日は本の貸出はできません。
- ◆子ども達には、やさしく光る「紙ふうせんうさぎ」づくりを楽しんでいただきます。 18:00~先着30名

*詳しくは、チラシ、図書館・ぶんととのホームページをご覧ください。

【お問合せ】 上野図書館(月曜休館) 電話21-6868



史跡旧崇廣堂文化財施設活用・芸術文化振興事業

芝居小屋 **あかもん** 喜劇 結婚の申込
 “日本の古き良き方言”を
 ふんだんに味わえる
 痛快喜劇



10月27日(日)

第一公演 14:30開演
 第二公演 18:30開演

【場所】 史跡旧崇廣堂 講堂 ※駐車場については、お問合せください。
 【料金】 一般 500円(全席自由) 発売中
 【定員】 150名(限定)
 【出演】 劇団上野市民劇場
 ふくきたわかた、大東みほ、中尾みみこ

三重県指定文化財 ■旧小田小学校本館 企画展■

懐かしの学校給食

現存する小田小学校の給食に関する資料をもとに、学校給食がたどってきた軌跡を振り返ります。

【展示期間】 11月1日(金)~11月30日(土)

【場所】 旧小田小学校本館
 (伊賀市小田町141-1)

【開館時間】 9:00~16:30
 期間中休館日なし

【参観料】 大人100円、学生50円、児童・生徒30円

【展示内容】 (パネル展示)
 学校給食のあゆみ・小田小学校の学校給食献立表
 入荷記録簿・給食場新築時の保護者宛て文書
 その他



参加者募集 **タッチ・ザ・スタインウェイ**
 ~世界最高峰のスタインウェイを気軽に弾いてみませんか!~

- 青山ホール 11月 9日(土) 10:00~17:00
- ふるさと会館いが 12月14日(土) 10:00~17:00
- 【演奏時間】 1枠30分 ※おひとり1枠のみ
 ・申込者本人のみ利用・音楽教室等の指導としての利用不可。
- 【参加費】 500円
 ・青山ホールに限り、2台のピアノの場合は2人以上1組
 1時間で1人1,000円(ただし、8手の場合は1人500円)
 ・1枠に3名以上(ただし2台の場合は除く)の使用は不可。
- 【募集人数】 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切
- 【申込方法】 10月20日(日) 午前11時から電話受付
- 【申込先】 ●青山ホール ☎52-1109 (水曜休館)
 ●ふるさと会館いが ☎45-9125 (月曜休館)

ママとベビーのジョイフルコンサートVol.6

「君はほんとうはいい子なんだよ」そう言ってくれた先生が私にはいた」と、黒柳徹子さんが多くの人に伝えたベストセラー、「窓ぎわのトットちゃん」を第一部では音楽物語にしてお届けします。子どもと一緒に、そしてまだ子どもとご対面していないマタニティの方もお腹の赤ちゃんと一緒に聴いてください。

【日時】 1月13日(月・祝) 開場10:30 開演11:00

【場所】 伊賀市文化会館 ホワイエ
 【料金】 一般(小学生以上) 500円(全席自由)
 未就学児入場無料(要整理券)

【定員】 140名
 【出演者】 鈴木みづ絵(歌・お話)・矢吹百代(ピアノ)
 和田かおり(クラリネット&編曲)
 北嶋香奈江(パーカッション)
 荒木弓佳(ヴァイオリン)

【予定演奏曲】 音楽物語「窓ぎわのトットちゃん」・
 ディズニーメドレー ほか
 【チケット発売日】 11月16日(土)



■旧小田小学校本館 施設利活用事業■

グニャグニャだこを作ってみよう!

お正月に自分で作った「グニャグニャだこ」で家族やお友達と一緒にあそぼう!

- 【開催日時】 12月15日(日) 10:00~11:30
- 【場所】 旧小田小学校本館(伊賀市小田町141-1)
- 【対象】 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
- 【定員】 20名
- 【参加料】 通常参観料(大人100円、学生50円、児童・生徒30円)
- 【申込受付】 11月17日(日) 午前9時から
 電話22-0511で受付
- 【持ち物】 工作用ハサミ・ものさし(30cm)
- 【講師】 岡野 桂一先生



BUNTO STAGE



大知正紘オータムLIVE

■16:30~

11/4
 入場無料

TROOPER LIVE

■12:30~

- ◆ラパスパフォーマンス
- ◆まいこさん書道パフォーマンス 他



スーパーBoy&Girlコンテスト

■15:00~

ハイトキッズコレクション with FLASHY
 in ハイトピア伊賀

■13:00~

【会場】 ハイトピア伊賀前広場
 特設ステージ(雨天時はハイトピア伊賀)



お問合せ：(公財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

ぶんと通信

伊賀上野城下町のおひなさん共催事業

手づくりアートのひな人形展

作品出展者募集



伊賀の歴史的な施設、栄楽館、武家屋敷入交家住宅の「和の空間」を彩る、様々な「手づくりアートのひな人形」の出展者を募集します。

【展示期間】 2月15日(土)～3月3日(月)

【展示場所】 栄楽館・武家屋敷入交家住宅

【募集期間】 11月1日～12月28日

【募集作品】 おひなさんをテーマにした、手づくりのアート作品

※お申込等詳細は、☎22-0511までお問合せください。

参加者募集

グラウンドゴルフ大会

第8回「集まれ！グラウンドゴルフ仲間！」

BUNTO杯！



【日時】 11月21日(木) 8:00～
※小雨決行 予備日22日(金)

【会場】 上野運動公園 競技場

【料金】 参加費 1人 500円

【定員】 900名 ※定員になり次第締切。

【受付期間】 10月1日から10月31日まで

【申込方法】 申込用紙にて受付いたしますので下記の受付窓口へ参加費を添えて提出してください

※伊賀市グラウンドゴルフ協会会員の方は、できるだけ各地区の協会役員の方にお申込みください。

【受付窓口】 伊賀市文化会館・上野運動公園スポーツセンター・ふるさと会館いが・青山ホール

～美と健康の総合プロデュース～

YOGA de Night!

心身共に健康で自立できる元気な体力づくりに!

【日時】 毎週水曜日 6回講座
11月6日(水)～12月11日(水)
時間 19:30～20:30

【場所】 伊賀上野交流研修センター

【料金】 3,000円

【対象者】 一般(高校生以上)

【定員】 40名

※先着順。定員になり次第締切。

【講師】 堀川 郁子先生

【申込受付】 11月2日(土)、9:00から☎22-0511にて申込受付



“ノルディック・ウォーキング”を体験しよう! Vol.4

用具は貸出します

2本のポールを持って、歩行運動を補助しながら歩くため、腰や膝に負担が少なく、ダイエットや姿勢矯正、リハビリ、介護予防などに効果があるとされる、今注目のウォーキングエクササイズです。まずは、ちょっとだけ体験してみませんか?

【日時】 11月7日(木)
受付 10:30～ / 時間 11:00～12:00

【場所】 上野運動公園スポーツセンター

【料金】 200円

【対象者】 18歳以上

【定員】 50名 ※先着順。定員になり次第締切。

【申込受付】 10月21日(月)、10:00から☎22-0511にて申込受付



Let's YOGA in 交研

リラックス&ダイエット

【日時】 毎週水曜日 10回コース
第4期 11月20日(水)～1月29日(水) ※1/1休講
受付 10:30～ / 時間 11:00～12:00

【場所】 伊賀上野交流研修センター

【料金】 5,000円

【対象者】 一般(高校生以上)

【定員】 30名

※先着順。定員になり次第締切。

【講師】 中 伊衣子先生

【申込受付】 10月30日(水)、10:00から☎22-0511にて申込受付



Let's YOGA in 武道館

リラックス&ダイエット

【日時】 毎週金曜日 8回コース
第4期 11月29日(金)～1月24日(金) ※1/3休講
受付 10:30～ / 時間 11:00～12:00

【場所】 伊賀上野武道館

【料金】 4,000円

【対象者】 一般(高校生以上)

【定員】 15名

※先着順。定員になり次第締切。

【講師】 錦 真奈美先生

【申込受付】 11月1日(金)、10:00から☎22-0511にて申込受付



ZUMBA

ラテン系フィットネス

【日時】 毎週木曜日 10回コース
第4期 11月21日(木)～1月30日(木) ※1/2休講
受付 19:00～ / 時間 19:30～20:30

【場所】 上野運動公園体育館 2階

【料金】 5,000円

【対象者】 一般(高校生以上)

【定員】 30名

※先着順。定員になり次第締切。

【講師】 川南 林恵先生

【申込受付】 10月26日(土)、11:30から☎22-0511にて申込受付



元気ママ・ママ&ベビーの3B体操

【日時】 毎週火曜日 8回コース
第4期 11月19日(火)～1月21日(火) ※12/24、12/31休講
☆元気ママクラス…10:00～11:00
☆ママ&ベビークラス…11:00～11:50

【場所】 三重県立ゆめドームうえの

【料金】 4,000円

【対象者】 ☆元気ママクラス…1歳以上の未就園(所)児とその保護者
☆ベビー&ママクラス…生後3か月から1歳未満の乳児とその保護者

【定員】 各15組 ※先着順。定員になり次第締切。

【講師】 (社)日本3B体操協会公認インストラクター

【申込受付】 10月30日(水)、10:00から☎22-0511にて申込受付

お問合せ：(公財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

ホール・ドーム **これから** 情報

ゆめドームうえの 伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

Table with 4 columns: 日時, 催し物, 場所, 主催・問い合わせ. Includes events like 第3回東海ジュニア選手権, 伊賀総合バレーボール選手権大会, etc.

伊賀市文化会館 伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

Table with 4 columns: 日時, 催し物, 入場料, 主催・問い合わせ. Includes events like 山崎まさよしLIVE, 伊賀コミュニティオーケストラ, etc.

ふるさと会館いが 伊賀市下柘植6243番地 TEL.45-9125

Table with 5 columns: 日時, 催し物, 場所, 入場料, 主催・問い合わせ. Includes events like いがまち展覧会, タッチ・ザ・スタインウェイ, etc.

あやま文化センター 伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

Table with 4 columns: 日時, 催し物, 入場料, 主催・問い合わせ. Includes events like 東西二胡外伝, 阿山地区人権フェスティバル, etc.

ゆめが丘多目的広場冬期養生期間のお知らせ
芝生の休眠期となる冬期に、芝生の荒廃を防ぐため下記の養生期間を設けます。

伊賀びと川柳
初ビエス見せたくお出かけ上野まら
★夏バテに効いた一口伊賀の酒
忍者列車見送る手には函書の本

青山ホール 伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

Table with 4 columns: 日時, 催し物, 入場料, 主催・問い合わせ. Includes events like 音楽ライブ ロックバンドおかん, アンサンブル パラット, etc.

編集部だより
この「ぶんと通信」が発行される前、10月12日には「俳諧」を確立した松尾芭蕉の偉業をたたえ芭蕉祭が行われました。

お問い合わせ (公財)伊賀市文化都市協会 TEL.0595-22-0511
FAX.0595-22-0512
http://www.bunto.com

ぶんと通信